

自動車用シートカバーの表皮材を利用し、シートクッションを販売 ～カーボンニュートラル実現を目指し、自動車部品等を利用した商品開発プロジェクトをスタート～

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、自動車用シートカバーの廃棄される表皮材を利用したシートクッションを3月29日に発売します。

当社は2016年に「2050年環境ビジョン」を策定し、カーボンニュートラル実現に向け、2030年までにCO2排出量を50%削減（2013年度比）する目標を掲げ、取り組みを加速させており、その一環として、自動車用シートカバーの廃棄される表皮材を利用し、アップサイクル商品とするプロジェクトを立ち上げました。

多くの人に知ってもらうため、プロジェクトの第1弾として中日ドラゴンズのマスコットキャラクター「ドアラ」とコラボした、ドアラシートクッションを発売します。

使用素材はすべて自動車用シートカバーの表皮材です。

この活動を推進するにあたり、エアバッグなどの端材を利用し商品化するトヨタグループの豊田合成株式会社のSDGsの取組みを参考にさせていただきました。当社もBtoCビジネスの扉を開き持続可能な事業を目指していきます。シートクッションに引き続き、今後もカーボンニュートラル実現に貢献できるよう商品開発を進めていきます。

【商品概要】

商品名	ドアラシートクッション
発売日	3月29日（火）予定（中日ドラゴンズ本拠地開幕戦に合わせた発売）
販売先	ドラゴンズ公式オンラインショップ、ドラゴンズストアサカエ など
販売価格	3,850円（税込）
サイズ	縦285mm×横455mm×厚み25～30mm

※画像はイメージ（記載内容から変更となる場合があります）



表面にドアラがプリントされた
シートクッション



裏面3色
（アイボリー、ベージュ、モスグレー）

トヨタ紡織公式 Instagram でも、
今回の取り組みを紹介しております。

